

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等の安全性に配慮されているか	○			入浴サービスは2名の職員で行なう。 障がいの程度や状態によって活動室を変えている。 1対1の対応が多く生じる。
	2	職員の専門性は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員の他に 看護師・作業療法士・介護福祉士を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			話し合いの場を多く持つようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向に対して、できる事は迅速に応えていくように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員研修会(法人・事業所内勉強会)を計画して実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現在は使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に一回以上、振り返りと次月の活動についての話し合いをもっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節を感じたり、有用な活動ができるよう変化をつけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の個々の状態により個別と集団活動の配分を変えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の朝礼で前日の特記事項や当日の予定・留意点を確認・共有している。児童発達支援にあたっては、毎回役割分担を含めたうちあわせを行なう。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時、また電話などで、下校時間の確認や児童の状況などを伝えて連携を図っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		相談支援事業所を通して状態把握に努め病院のリハビリ担当者や訪問看護との連携を図っている。また、利用に際しては保護者の付き添いをお願いし、必要なケアが不安なく受けていただけるよう職員全員で対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所には月ごとに利用状況を報告している。移行の際には要望に応じて情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ禍で途絶えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳の記載を通して、利用時の様子を細やかに伝えることができるよう努めている。必要に応じて、電話での報告や話し合いの場を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		療育についての問合せや相談には、各専門職や児童発達支援管理責任者により迅速に対応し、職員間で共有している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			できる限り傾聴し、共に考えていくようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍で企画したものの実施できていないので、今後状況を見て取り組みたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			どリーまあ通信(年1回)/ どリーむキッズ便り(毎月)発行を通して、行事の予定や活動の様子、保護者へのお願いなど伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			思いを言葉に表しにくい児童には、静かな環境で話ができるように相談室を使っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナで開催が見合されているが、自治会の避難訓練や清掃作業に参加させて頂けるように申し入れをしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防犯マニュアルについても早急に整備して自主訓練につなげたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年度に2回の避難・消火訓練の他、近くの医療センター協力を得て駐車場への移動訓練や防災散歩を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			委員会が主体となって法人全体で、研修や意識付けを行っている。職員の入職時にも研修を行なうようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在は身体拘束・虐待防止委員会を設置している。現在は該当児童なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		契約時にはアレルギーの有無と留意点についてのききとりをしている。現在は該当児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			